



年祭活動は、 収穫より種まき

7月大教会教会長会議
立教188年7月22日
大教会長 片山幹太

本島通信

発行所 〒763-0223 香川県丸亀市本島町泊268
天理教本島大教会
電話 0877-27-3321 (代)
本島通信編集室 R250725-0728-15
奈良県天理市指柳町270-1
本島詰所 〒632-0093
電話 0743-63-1571 (呼)
<https://www.honjima.com>
Email: webmaster@honjima.com
大教会 朝夕おつとめ時間
【6月1日～8月31日】
朝づとめ 午前6時00分
夕づとめ 午後7時00分

6月25日の「おやさ」と講演会」(第二食堂)で深谷善太郎先生より講話をいただきました。
その中で先生は「年祭活動は、収穫というより種まきです」とお話くださいました。そして種まきについて、具体的に三つ挙げられました。
一つ目は、暗いものを蒔くのではなく、喜びの種を蒔きましょう。すべてのおふしには喜びが必ずあるのだということ。
二つ目は、おたすけの種を蒔きましょう。教祖は「たすけ一条」のひながたをお通り下さいました。
三つ目は、伏せ込みの種を蒔きましょう。伏せ込みでは芽生え、芽生えては伏せ込むということです。
喜びの種、おたすけの種、伏せ込みの種、年祭活動の残り半年間しっかり努めさせていただきます。
さて、妻のかおりは昨年9月から婦人会本部の御用をさせていただ

ています。その婦人会で練り合われている話を聞きました。
それは一昨年(立教186年)の秋季大祭において真柱様より戴いたお言葉です。
「一人でも多くの人を、この道に

引き寄せていただく努力とともに、その人たちが道具の自覚を持って、教えを実行するようになるまで辛抱強く心を掛けていくこと。また、すでによぶほくになつてはいるが、いま一旦休憩している人も、やはり一人でも多く、よぶほくの自覚を持って動いてくれるように働きかけを続ける、その努力もおろそかにならない

ようにして、そうして、この年祭活動が盛り上がりつつっていくようになればと思っております。(みちのとも立教186年12月号7ページ)」
教会の志は教会長ですので、婦人会本部としては各教会長と心をそろえて、この「いま一旦休憩している人」が目覚めて共に歩んでもらえるように働きかけていこうというのが活動の一つです。

どうか教会につながるよぶほくの皆さんに心をつないで、年祭活動の盛り上がり、陽気ぐらしへの勇んだ歩みを進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

【文責・本島通信編集室】

本島大教会 神殿講話(要旨)

【立教188年7月22日】

親神様に守っていただける種 伏せ込みひのきしん

大教会准役員 後藤正治

私がお預かりしている御幸演分(みゆきはま) 教会の月次祭では、はじめに「月次祭のおつとめについて」という文章を読ませて頂いてから祭典を勤めています。これは神奈川教区の前教区長である篠田欣吾先生が書かれた文章とかがついています。まず読ませて頂きます。

月次祭のおつとめについて

おつとめは、親神様がいない世界、ない人間を創られた不思議珍しいお働きを、よろづたすけの上にお現し下され、病氣・災難・事故・争い事等の上に珍しい守護をなされる大切なつとめであります。従つておつとめは、奉仕者はもちろん参拝者全員が一つ心に溶け合つて、勇んで真剣につとめることが大切であります。

みなそろてはやくつとめをするならば、そばがいさめバ神もいさむる

(一号11)

にちくにはやくつとめをせきこめよ
いかなるなんもみなのがれるで

(十号19)

どのようなむつかしくなるやまいでも つとめ一ぢよでみなたすかるで

(十号20)



◎親神様の厚き御恵をたたえ、感謝の心一杯でつとめましょう。

◎なんでもたすかつて貰いたい、たすけさせて頂きたい心一杯でつとめましょう。

◎湧き立つような燃え立つような、よろこび勇み心でつとめましょう。

◎皆が一つの理に心を揃え、地方に声を合わせてつとめましょう。

教会のおつとめ奉仕者の中で一番の高齢は97歳になる杉山トエさんというおばちゃんです。私の叔母にあたります。教会に住み込んで16年になります。教会のお下げも、鳴物も全部やつてる。買い物も行きます。おちばがえりは教祖誕生祭と秋季大祭と年2回帰ります。おちばでは神殿、教祖殿、祖霊殿へ、杖をつかず、車いすにも乗らずに、皆と同じようにグルッと廻つて、詰所まで帰れる元気なおばちゃん。性格は穏やか。小さいことはあまりゴチャゴチャ言わない。そんなおばちゃんです。おばちゃんは福島県の郡山で生まれました。終戦後、20歳過ぎたぐらいで小田原に出てきました。うちの前会長(私の父です)が親代わりでした。着物を着て旅館の仲居を数年勤め

ていたところ、お客様から「あの仲居さんを嫁に欲しい」という方が現れました。うちの前会長は親代わりということ、その方のご実家まで出向いて人物を見定め、この人ならばいいだろうとおばちゃんに伝えて、結婚を決めたそうです。おばちゃんはまだ修養科を志願し、修了後ご主人と一緒に横濱での共働き生活がはじまりました。

前会長はおばちゃんと、結婚しても必ず月次祭は勤めるよう約束をしたそうです。おばちゃんはそれから今日まで、月次祭を一度も欠かすことなく勤めてくれていきます。ご自宅には講社も祀り、前会長は月に一度、講社祭を勤めておりました。

おばちゃんは義母と3人で暮らしていましたが、ついにご主人が出直し、義母も96歳で出直され、そのときおばちゃんは80歳でした。

私は「おばちゃん、よかつたら小田原に来てもらえませんか」と話しましたら、即「行きます」と言ってくださいました。教会の生活にもすぐ慣れ、それから16年が経ちます。

この16年間、大きな病気もせず、今年ついに介護で要支援1と認定されましたが、毎日元気です。元気な

もんですから、おばちゃんは、に、いがけに行くつたつて、別に、パンフレットも何も持つていかななくて、おばちゃんが歩いてるだけで、それがもう十分なに、いがけです。近所の人達が、「あのおばちゃん元気だな」つてそれだけで十分じゃないかなつて。いつまでも元気です。ただだきたいと思つてあります。

そのおばちゃんを激励に来られるのが込山吉保さんご夫妻です。かならず毎朝8時前後に参拝に来られます。

込山さん夫妻は、私の長女の嫁ぎ先の両親です。ご主人は信用金庫を定年まで勤められ、退職後は植木の仕事をしたいと考えていたそうです。私とも話がいろいろ合うようになり、そのうち込山さんが「一度、大教会に行つてみたい」と言われました。

私は、大教会では5日間の神殿奉仕当番があり、移動も合わせて1週間ですが、いいですかと訊ねましたら、お願いしますとのこと、すぐに決まりました。

込山さんの自家用車に植木の道具、みかんやレモンの苗木も2・3本積んで、小田原を早朝出発し、途中のサービスエリアで讃岐うどんを食べ

て、4時のフェリーで大教会に到着しました。かおり奥様から、一番景色のいい部屋を案内していただきました。

大教会では5日間、朝の神殿掃除では参拝場の掃き掃除をして、昼間は屋外で植木の手入れをして、夕方は明るいうちから大きなお風呂に入らせていただき、美味しいご飯をいただき、おつとめを勤めさせていただきました。

大教会長様、奥様はじめ、在籍の皆様には尊いご真実をいただきまして、本人は大変喜び満足して帰りました。

教祖は、「この家へやって来る者に、喜ばさずには一人もかえされん。」と仰せられたとありますが、本当に本人は喜んで、帰りの船の中で「また来年来よう」とそんな話をしました。

込山さんとの大教会帰参、神殿奉仕当番はその後6年間続きました。

ところがある日の夜中、込山さんが自宅で休んでいたとき、突然胸が苦しくなり、奥様が救急車を呼ばれて市立病院に搬送されました。心筋梗塞で、当直の医師が専門医ですぐ対応してくれました。運が良かったと思います。次の日、教会でお願い

づとめをつとめさせていただきました。面会ができるようになり、何日かおさづけを取り次がせていただいたところ、今度は脳梗塞を併発したとの知らせが入りました。再びお願いづとめをさせていただきながら、どうなるんだろうといういろいろなことが浮かんできました。

幸い軽症で退院し、自宅でのリハビリが始まりました。後遺症は、左腕に少ししびれがあることと、話がスムーズにできないということ、家から出るのが怖いようでした。

込山さんの自宅から教会まで歩いて10分ぐらいの距離になります。涼しくなった頃、教会まで来られるようになり、おばちゃんと3人で話をしています。教会に来られるのがリハビリになり、おさづけも取り次がせていただき、だんだんと元氣を取り戻してきました。

それからまもなく、大教会創立120周年記念祭が発表され、込山さんから「私も行かせていただきたい」との話になりました。しばらく体調も考えて遠出をしたくてもできない日が長く続きましたが、思い切ってこの

機会に神様から「心配しなくてもだいじょうぶ」と声をいただいたように思い、大変嬉しく思いました。

大教会の記念祭には、前日小田原から天理に移動し、詰所に宿泊したのち、記念祭当日は天理から大教会へ日帰りする日程でした。ワゴン車一台で出発し、夕方おちばに到着し、南礼拝場で参拝させていただきました。そして教祖殿へ移動していると、込山さんから「おつとめをさせていただきます、込山さんから」と言われました。と仕方がなかったと言われました。とても嬉しかったのだらうと思います。

記念祭では本島港に到着してから大教会まで帰参者全員で歩きました。大教会が初めての方、身上のご守護をいただいた方、それぞれの思いがあったことと思います。

込山さんは生まれつき普通の人よりも心臓が小さい。社会人になって、医師から「込山さんの寿命は60歳ぐらいでしょう」と言われたそうです。

その後、心筋梗塞と脳梗塞をしまして、市立病院に1ヶ月に1回ぐらい行く。たまに心臓のレントゲンを撮ってもらおうと「いやあ、心臓の形がだいぶ崩れていますね」と言われる。この間もそう言われたそうです。

心臓の形が小さくて、崩れている。それでも生きているんだと。77歳にもなって、お医者さんが「こんなに心臓が小さくて形が崩れている人は私は知りません」と仰る。60歳まで信用金庫にいて、それから教会へお参りさせて頂くようになって、今まで来させて頂いて来た。やっぱり神様が守って下さっていたのかな、と私は勝手に考えておりますが、まったく違うわけでもないと思います。一日一日を神様に守っていただいている。毎日小さなみかぐらうた本を片手に唱和しながら、日参されていきます。

今日も私より元気なおばちゃんと、大教会のレモンの木が心配な込山さんと、教会につながる皆さんが、秋のおちばがえりを目指して、連日の猛暑に負けないよう、守っていただけるよう願う毎日です。ありがとうございます。

(文責・本島通信編集室)



七月月次祭 祭典役割

七月月次祭祭文

立教百八十八年七月二十二日

献饗長 井上 哲
伝 供 大西知・永島宗行・大上道徳・原口実・後藤正治・奥村龍夫・伊東康成・片山直明・茶屋原良昭・横山正次・高島榮造・横関茂治・長尾海和・岩橋秀一・白垣初生・香川勝巳・鎌田典夫・宮路和徳・村田輝夫・

岩橋元博・大矢万三・河村旬一・古井信 根岸巖 川村吉夫・江草克二・溝口晋太郎・肥後信
雅楽奉仕者 文岡育則・池田恒治・上山薫・伊東賢太郎・鎌田康典・吉田貴慶・白垣俊生(順不同)

祭主 指方	大教会長	座りづとめ	てをどり前半	てをどり後半
	西山道教			
祭主	大教会長	座りづとめ	てをどり前半	てをどり後半
指方	西山道教	扨者	岩野道昭 岩橋竜造	賛者 高垣光治 雲庵春彦
地方	井上 哲 岩橋竜造 永島宗行	大上道徳 伊東康成 片山直明	長尾海和 長濱充憲 宮路和徳	
てをどり	大教会長 片山 勲 岩橋慶三 会長夫人 前 会 長 片山孝代	吉田晴雄 原口 実 奥村龍夫 池田さわみ 岡崎むつゑ 菅岡和美	横関茂治 村田輝夫 肥 後 信 上田敬子 岩橋晶子 加藤道代	
ちやんぼん 拍子木	岡崎八十則 寺本教生 大西 知 窪田靖明 老木邦光 篠原丕王 片山やすゑ	雲庵春彦 茶屋原良昭 横山正次 後藤正治 田中丸勝也 高島榮造 岩橋元実	鎌田典夫 根岸 巖 溝口晋太郎 江草克二 河村旬一 香川勝巳 雲庵瑞穂	
すりがね 太鼓	大西 知 窪田靖明 老木邦光 篠原丕王 片山やすゑ	横山正次 後藤正治 田中丸勝也 高島榮造 岩橋元実	溝口晋太郎 江草克二 河村旬一 香川勝巳 雲庵瑞穂	
三味線 胡弓	向所暉美子 長尾澄子	原口和子 片山美穂	梅木澄代 肥後良子	
神殿講話	後藤正治			

この神床にお鎮まり下さいます親神天理王命の御前に天理教本島大教会長片山幹太慎んで申し上げます

親神様にはこの世人間をお創め下されてより片時も途切れることのないお働きをもってお護りお育て下さり旬刻限と共にこの世の表に現れよろづ委細の元を明かして下さり一条の道をつけさまさまな節を通して成人を促しつつ陽気ぐらしへとお連れ通り下さいます御慈愛の程は誠に有難く勿体ない極みでございます

私共はひたすら教えに基づき生き方を求めて一名一人に頂く御用を通してたすけ一条の道の上に励ませて頂いておりますがその中にも今日の吉き日は当大教会にお許し頂いた月毎の御祭日を迎えましたので只今から役目に与るおつとめ奉仕者一同が心も一段と晴れやかに座りづとめてをどりを陽気に勇んでつとめて七月の御祭を執り行わせて頂きます

御前には親を慕い今日を楽しみに厳しい暑さともいとわず集まりました道の子一同が日頃の御恵みに御礼申し上げますおつとめを唱和してつとめに勇む状をもご覧下さいまして親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます

尚来る十一月三十日には第二回目の斯道会別席団参が実施されるに当り私共一人ひとりが世界たすけの歩みを推し進め御存命の教祖にお喜び頂きたいとの強い決意のもとに改めてにをいがけおたすけに努めさせて頂く所存でございます又夏は少年会員をはじめ若い道の後継者育成の大切な機会であります

その中で七月二十六日に開催させて頂きます「第三十五回少年会本島団おつとめ総会」に真柱

様から賜ります「御告辞」をしつかりと心に受け止めさせて頂き立派なようばくに育つよう育成会員として一層の丹精に励ませて頂く所存でございます

更にはおちばにて開催されます「学生生徒修養会高校の部」続いて「本島学生会サマーキャンプ」を当大教会で実施させて頂きます私共はこれらの活動行事を通して少年会員道の学生が楽しく教祖の御教えを学びたすけ合いの心を育み将来に向つては世界たすけの御用にお使い頂ける立派なようばくに育つよう一層の丹精に励ませて頂く所存でございます

三年千日の年祭活動もあと半年となりました私共は教祖のひながたを定規に思案しただ一筋に人だすけの御用に励み陽気ぐらしの御教えを伝え広める努力を重ねて仕上げの旬に向つて勇んで勤めきらせて頂く決意でございます

何卒親神様にはこの心をお受け取り下さいますてよろづたすけの上的一段と自由の御守護を賜わり世界が争いのない互いに立て合いたすけ合う陽気ぐらしの世の状に一日も早く立て替わりますようお願い申し上げます(原文のまま)

7月22日(火)
【香川県丸亀市】

天 候 晴

最低気温 26.5℃

最高気温 34.0℃

平均気圧 1014.9 hPa

平均湿度 74%

平均風速 1.7 m/s

日照時間 11.5 時間

降水量 0.0 mm

本浜陽分教会 3代会長就任奉告祭



本浜陽分教会(旧本埼玉分教会、根岸巖会長、茨城県鹿嶋市)では、昨年4月根岸正

行2代会長の出直しにともな

い、本年5月26日のお運びで、

根岸巖氏の教会長任命と改

称(本埼玉分教会から本浜陽

分教会へ改称)の理のお許し

を戴いておりましたが、去る



長夫妻を迎え(随行・片山好治役員)、3代会長就任奉告祭を執り行いました。参拝者27名。

当日は快晴の天候に恵まれ、遠方の信者をはじめ本浜部内の教友が朝早くから教会に集いました。

挨拶に立った大教会長は、まず根岸弘美前会長夫人に労いの言葉を送られた上で、教会活動を駅伝にたとえ、「それぞれ親神様より託された区間があります。環境は違っても、自分が走るべき区間を一生懸命走るとともに、たすきをつなぐ次の人材も育て、ともに応援してくれる人々とともに陽気ぐらしへの歩みを進めていただきたい」とエールを送られ、続いてかぐらぶとめの理合いに学び「教会は、一人ひとりの考え方や徳分も違う人が集う中、いつも親神様を中心に思索して、一手一つになっていくことが大切です」と述べられ、かぐらぶと

めにおける一手一つについていいいに述べられました。

続いて座りづとめ・てをどりが勇んで勤められました。

なお改称について、旧本埼玉分教会は昭和26年4月25日に埼玉県児玉郡において設立

され、その後埼玉県宇野市(当時)に移転、立教58年2月26日に2代会長根岸正行氏の任命願とともに茨城県鹿嶋市への移転と教会名称を本埼玉から本埼玉に改称するお許しを戴き、以来およそ30年間、本埼玉の名称で教会活動をして

きました。教会所在地は茨城県であるのに対して埼玉県の教会に間違われることがたびたびあったことから、このたび本浜陽への改称を願う出る

ことになった次第です。これは上級「本浜」分教会の名称に加え、本埼玉分教会初代会長

小池はなの従妹で根岸巖新会長の祖母にあたる根岸フジが

布教所長をつとめた本埼玉布教所の用の字を、陽気ぐらし

から「陽」の字に替えて加えた名称になります。

レッツゴー青年会in九州



青年会本島分会(伊東賢太郎委員長)では、地域の教会

へ出向き、ひのきしんを通して会員相互の交流をはかる

レッツゴー青年会を、赤峰分教会(宮崎県都城市)において

7月12・13日の日程で実施。分会より出向した青年8名を含む、青年会員14名、会員OB8名、婦人会員5名、少年

会員4名の合計31名が参加しました。

当初、境内地の伐木作業を予定していましたが、戻り梅雨の影響で内容変更し、境内地の草刈り、草抜き、神殿廻廊拭きを行いました。

入社祭

立教187年7月22日の入社祭はありませんでした。

青年会マンスリー隊

青年会本島分会が毎月実施している「帰ろうぜ!本島!マンスリー隊」を7月20日に実施。第10回目となる今回は会員6名、OB5名、女子青年2名の計13名が参加。餅つき、調餼、食堂ダクト掃除、客殿草刈り集めを行いました。次回は8月9日から11日にかけて、家族参加によるファミリーマンスリー隊を実施する予定です。



日々嬉しい1粒の種は、一粒万倍に



【教会の掲げ板】
本島トットコムよりダウンロードできます

少年会本島団 第35回おつとめ総会

少年会本島団(大上道徳団長)では、7月26日午後、本島詰所において「第35回おつとめ総会」を開催。少年会員56名、育成会員83名、計139名が参加しました。

少年会員がおつとめ着に身を整え一堂に勤める総会は、立教152(平成元)年の「おつとめまなび総会」から始まり、立教160(平成9)年からは「おつとめ総会」と称して毎年開催されてきましたが、コ



ナ禍前の立教182(令和元)年「第30回おつとめ総会」以後中断していました。このたび関係者の努力により、6年ぶり「おつとめ総会」復活となり、内容も一部改

め、新たに勤められました。おつとめは午後5時、詰所3階修煉室において開会。今回は座りづとめから六下り目まで4交替としました。おて

ふりの男女1番は青年と女子青年が当たり、少年会員が安心して勤められるようにしたほか、参拝場にはパイプ椅子を並べました。

続く総会では、少年会長様の御告辞を大上道徳団長が代読したのち、育成会長様(大教会長)のお話がありました。席上、南太平洋サモアの人々の風習を紹介した上で、「サモアの人々は身体の中でもおへそを大切にします。おへそは胎内にて母親から栄養を与



えられて大きくなったところだからでしょう。親神様から私たちが人間が命を

与えられた元初まりの場所がおちばです。ですからおちばがえりと言ひ、おちばでは『ようこそおかえり』と迎えてくれるのです」と、元のち

ばについて分かりやすくお話しくださいました。

おつとめ総会に先立ち、午後1時に集合したのち、4階講堂で身体を使ったゲームを楽しみ、3階修煉室でおつとめ練習、午後4時から男女分かれておつとめ着の着付けを行いました。また総会後は4階講堂にて全員でお弁当を食べて解散となりました。

今回、6年ぶりのおつとめ総会ということで、従前の担当者が変わり、特におつとめ着の準備と着付け、片づけなど慣れないことが多くありましたが、互いにたすけ合い、一手一つにひのきしんが勤められました。

教会長登殿参列が終了

教祖140年祭教会長登殿参列に、本島大教会は2年前の5月26日より全13回の割り当てをいただいておりますが、7月26日の登殿参列ですべてが終了しました。

こどもおちばがえり開催前日のこの日、天理市内は36℃の猛暑日となりましたが、本島より5名の教会長が教服に身を整え、結界内で参拝いたしました。

教会長登殿参列記録(本島)

立教186年	5月26日	15名
	8月26日	11名
立教187年	11月26日	12名
	2月26日	14名
	4月26日	14名
	6月26日	16名
	7月26日	1名
	9月26日	16名
	11月26日	1名
	12月26日	12名
立教188年	3月26日	13名
	5月26日	2名
	7月26日	5名
計		132名

大教会長動向

▼8月(予定)▲

7月27日～8月3日
こどもおちばがえり
1日、本部神殿奉仕当番
18～20日、本島学生会
サマーキャンプ

22日、大教会月次祭執行
24日、修養科門出まなび
25日、かなめ会委員会
26日、本部月次祭
27日、かなめ会
28日～9月5日、海外巡教
31日、カリフォルニア教会
会長就任奉告祭

以上



事情はいつ

(立教188年7月26日付)
カリフォルニア教会
任命願
新任教会長 大西太一
臨時祭典願

就任奉告祭 立教188年8月31日
イリノイ教会
任命願
新任教会長 高垣弘明
臨時祭典願

就任奉告祭 立教188年10月4日
以上

修養科第二〇〇七期修了

(立教188年7月27日修了)
本静森 今野百利
【計1名】

教人資格講習会修了

(立教188年6月10日修了)
本島 片山香葉子
(立教188年7月11日修了)
赤峰 宇野みゆき
以上

教人登録

(立教188年6月25日付)
本島 片山香葉子
【計1名】

をびや許し

(立教188年6月分)
本都 加瀬磨由子
本陽山 吉永紗麗
マウイ 久尾由貴
【計3名】

少年会新隊長

(立教188年6月26日付)
本陽山隊 上山栞奈
【計1隊】

ろくぢ会

(立教188年7月分)
▼本島△片山幹太・片山かおり・香葉子・幹太郎・好次・昇太△片山秀明△長尾真実・幸太 ▼本樺△大上ほの香・はる香・太吉 ▼本浜△片山清枝・正枝・誠 ▼安藝本中△池田こみち ▼崇徳分教会 ▼本高分教会 ▼ポートランド△片山和信・陽子・昇慶・竜次
ご芳志に厚くお礼申し上げます

布教部報告(7月分) 数字は本年の提出回数です

統計 (6月1日～30日)

にをいがけ名簿提出教会 (7月)			
本島	6	本千代	7
本樺太	7	本千賀	6
本倉岡	7	本千治	6
本本樺	7	本千惠	5
本本室	6	本攝津	7
本渋谷	6	本泉	6
本代々木	5	本太	7
本本萬	6	本萩	6
本本都	7	本福	3
本本京	7	安藝本中	4
本本東	7	本備前	7
本本草	7	本迪	3
本本護	5	本府中	6
本本三	7	本沖浦	7
本本惠	7	本龜	4
本本恵山	4	本清水	4
本本恵明	7	本崇徳	7
本本静濱	7	本与島	5
本本静森	6	本高	7
本本日米	6	本宣道	6
本本浜	6	本九	7
本本米	7	本小倉	6
本本米里	7	本陽山	7
本本米浜	7	本仙	7
計 72 教会		1,199 名	

おさづけ取次報告教会 (7月)			
本島	7	本千代	7
本樺太	7	本千賀	7
本倉岡	7	本千治	5
本本陸	5	本千惠	6
本本樺	7	本濱	6
本本室	6	本攝津	7
本渋谷	6	本泉	7
本代々木	6	本太	7
本本萬	7	本萩	6
本本都	7	本福	5
本本京	7	安藝本中	5
本本東	7	本備前	7
本本道	7	本迪	5
本本草	7	本府中	6
本本護	4	本沖浦	7
本本三	7	本龜	5
本本惠	7	本清水	5
本本恵山	7	本崇徳	7
本本恵明	7	本与島	5
本本静濱	7	本高	7
本本静森	7	本宣道	6
本本日米	7	本九	7
本本浜	7	本小倉	6
本本米	7	本陽山	7
本本米里	7	本仙	7
本本米浜	7	本九肥	1
計 76 教会		1,952 回	

教会名	初席	中席	参り鐘	修科	教人講習	検定講習
本島					1	
本樺太		2				
本米臺	1					
本千代		1				
本本太				1		
本南		1				
本本峰				1		
本本靈				1		
大本隅				1		
本ノルル	1					
合計	2	4	0	3	1	0



大教会表参道でアベリアの蜜を吸うキアゲハ



斯道会別席団参

【団参担当】

●日にち：11月30日(日)
案内フライヤーと、第1次帰参予定
申込書を配布しました。申込書は9
月22日提出締切。準備の都合により、
かならずご提出願います。

宮森先生おてなoshi

【おつとめ修練部】

●日時：8月25日(日)午後3時より
●会場：本島詰所4階講堂
※急きょ変更になる場合もあります。
※どなたさまもご参加いただけます。

青年会マンスリー隊

【青年会本島分会】

おもに祭典準備ひのきしんを行います
●実施日：立教188年(2025年)
8月9日(土)～11日(祝)、9月20日

<https://www.honjima.com/>

秋季雅楽講習会

【青年会本島分会】

- 日時：9月13日(土)午前10時～
9月14日(日)午後1時解散
- 場所：本島詰所
- 内容：初心者は平調、経験者は老越調

学生会サマーキャンプ

【本島学生担当委員会】

- 期間：8月18日(月)～20日(水)
- 会場：本島大教会
- 内容：海浜行事、ひのきしん、こか
ん様に続く会
- お問合せ：雲庵春彦担当委員長

こかん様に続く会

【婦人会本島支部】

- 期間：8月20日(水)午前8時～9時
- 会場：本島大教会
- 対象：高校生、女子青年
- 内容：こかん様のお話

関東の集い

【青年会本島分会】

- 日時：8月31日(日)9:00～
- 会場：渋谷分教会
- 対象者：16歳～60歳前後の男女
- 参加御供：500円
- 内容：グループワーク、ひのきし
ん、パーベキュー

大教会8月月次祭ライブ中継

【本島通信編集室】

- 対象：8月22日大教会8月月次祭に
帰参できないため、ライブ中継視聴
を希望する方
- 申込方法：
メールで、live@honjima.comに
「ライブ希望」と「教会名・
氏名」を記入してお申し
込みください。当日朝
ライブ視聴できるアド
レスをメールでお知らせします。
- 申込締切：8月21日午後5時まで
- ご注意：ライブ中継は毎月のお申
し込みとなります。



修養科女子教養掛について

【婦人会本島支部】

- 修養科女子教養掛は年間36人体
制で勤めさせて頂いております。
- 来年も「希望調査票」は直轄の単立
教会は1教会につき1名ずつ、ま
たご部内をお持ちの教会は自教会
を入れて4～5教会につき1名ず
つの提出をお願いしております。
- つきましては、来年(立教189年)
女子教養掛「希望調査票」を、9月
22日までにお知らせ下さいませ
ようお願いいたします。
- なお、教養掛は「希望調査票」に基
づいて編成いたしますが、希望調
査票の未提出教会にはこちらから
お問合せいたしますのでご承知お
き下さい。

〈諸説明〉

- ◆女子教養掛の期間は毎月、①5日
～15日、②15日～25日、③
25日～翌月5日となります。
- ◆いずれの期間も、本島詰所集合で
す。初日朝づとめより始まり、最
終日夕づとめまでお勤め頂きます。
(初日と最終日は前任者または後任
者との引継ぎとなります)
- ◆幼児を連れてても可能ですので、ご
相談下さい。
- ◆当番表は各所属教会の祭典日を外
して決めさせて頂きますが、特に
希望する期間(または支障のある期
間)がありましたらお知らせくださ
い。なおご希望に添えないことも
ありますのでご了承ください。
- ◆お問合せは修養科世話係(原口和子
080-4312-6924)まで
お願いいたします。
- ◆提出先：片山かおり支部長(大教会
FAX0877-27-3323、
大教会へ郵送可)
- ◆提出締切：9月22日

8月ひのきしん派遣依頼

【総務部】

- 〈大教会・炊事ひのきしん〉
- 期間：8月21日～22日
- 派遣教会：渋谷

〈詰所・食堂ひのきしん〉

- 期間：8月25日～26日
- 派遣教会：本攝、本亀